

# YAMATO NEWS

2013. Jul  
No.  
\_408

**Yamato**

ヤマトニュース  
お客様と大和製衡(株)を結ぶ情報誌

## 製品情報

- シーズニングシステム
- T S DW-205W

音声ランク選別機

**ランクNAVI™**

## 展示会レポート

- PROPAK ASIA 2013 (海外)
- TOTAL 2013 (海外)
- FOOMA JAPAN 2013 (国内)

Pick up  
Contents

業界最高水準のパフォーマンス！

**オートチェツカ I series**

2013.07.10 / 北野クラブ sola

**2013年度研修会開催**



「奉納手筒花火」 PHOTO BY SYAMAOKA



# Yamato

2013.7.10 / 北野クラブsola

## 研修会開催

2013年度 Yamato 研修会を、全国の有力販売店様37社のご参加を賜り、7月10日に兵庫県神戸市の北野クラブsolaにて開催いたしました。

開会宣言・社員紹介の後、川西社長より2012年度売上拡大にご尽力頂いた販売店様に心よりの感謝を込め、感謝状を贈呈させて頂きました。そしてご出席各社のご代表として、株式会社協立商会浜田社長様より謝辞を頂きました。また、特別表彰として、2012年度弊社の重点機種について最も顕著な貢献を頂いた販売店様に対し感謝を込めて表彰させて頂きました。

このあと岡村取締役事業部長より4月の組織改編により旧自動機器事業部と旧普通はかり事業部が統合し、「自動一般機器事業部」となった目的として、組合せ理論を始め定量計量技術のさらなる深化と、相互の販売ネットワークの有効活用と強化により新たなビジネスを創造して行く事を説明いたしました。

また、長尾取締役副事業部長からは、2013年度自動一般機器事業部方針を下記の通り発表いたしました。

「一般機器事業(旧普通はかり事業)は、従来の単品販売(物)から作業改革の提案(質)への転換を行う、また、新カテゴリ商品による事業の拡大(新規市場の創造)に取り組む。これにより、定量市場でのトップシェア確立を基本戦略として事業を推進していく。」



定量・チェッカ展示コーナーでは、重点機種のDP/UDSを用いた定量コンセプト商品として、抜群の操作性を実現するスクロールスイッチを採用した定量専用機、階級分け作業に役立つ音声ランク選別機の紹介と、半自動式組合せはかりの各種ラインナップを展示し、中でも自動排出機構付き組合せはかりでは、手投入のデメリットである載せ降ろしタイミングの不良を回避するシャッターゲット機構付きや、大容量パックの定量詰め作業を容易にするチェッカ接続タイプ等の新しいコンセプト商品を展示し、作業改善による顧客メリットの説明を行いました。また産機製品では革新技術を搭載した次世代形パッカースケールと、食品業界で注目を浴びている定量味付け装置の次世代形シーズニングシステム等を、新たなビジネスの事例を交えて発表いたしました。

研修会の後、北野クラブsola内のディナーショー会場において、皆様の日頃のご愛顧に感謝する懇親会を開催致しました。会場では、Yamato Music Festival Vol.13と題し、オペラの鑑賞やプロのサクソフォーン演奏、バントマイムによる華やかなステージと、昨年に引き続き川西副社長を含むYamato社員バンドの演奏を行い、大変な盛り上がりの中に終わりました。翌11日はゴルフ組と観光組に分かれ、ゴルフは名門コース"広野ゴルフ倶楽部"でのプレーを、観光は自然と歴史文化に恵まれた地域である和歌山を訪問し、マリナーシティの観光を行い、昼食は加太海岸に移動し、真鯛料理で有名な「活魚料理いなさ」にてお互いの親睦を深めて頂きました。

2日間にわたる研修会・懇親会・観光を無事終了することが出来ました事は、ご参加頂きました皆様のご協力の賜と深く感謝いたしております。



## オートチェッカ I シリーズ

## オートチェッカ I series

大和のIシリーズオートチェッカは、安心・安全でロスの少ない定量計量ラインを、業界最高レベルの高能力・高精度を用いてお客様に提供いたします。商品の量目・欠品チェックによる選別はもちろん、定量計量機や選別後の後段機器の最適制御、データ管理、生産ラインの異常監視などへの活用、計量包装工程における歩留まり向上や包材ロスの防止、徹底した品質管理など、多様なニーズに対応する業界最高水準のオートチェッカをコンセプトに開発いたしました。



### 計量速度、精度ともに 最高50%アップを実現 (当社従来機比)

計量速度 480ppm 計量精度  $\pm 0.15\%$

- 新型デジタルロードセルの採用で、温度変化に起因する零点調整が不要となり生産性を向上させます。
- 高固有振動数ロードセルにより、被計量物の計量コンベヤ乗り移り時の衝撃などの振動減衰時間が短くなり、それにより安定時間をしっかり確保することができ、高速計量を実現しました。
- 長さの異なる供給・計量コンベヤの幅広いバリエーションを揃え、被計量物に最適な長さのコンベヤを選択することで、コンベヤ速度、計量サイクルを最適化し、高速・高精度計量を可能とします。
- 床振動の大きい動作環境では、デュアルロードセル(オプション)が床振動などの低周波振動を排除し、高精度計量に貢献します。

### 安心・安全

良品・不良品振分確認機能(オプション)により確実に被計量物が振り分けられたかを確認し、不良品が後工程に流れることを防止します。さらに、重量値やチェッカ通過後の動作履歴を自動的に記録し、一元管理を行ったり、生産状況の分析・診断にも役立ち、より信頼性の高いトレーサビリティシステムを構築できます。

### 抜群の操作性

Yamato独自の自動調整プログラムシステムにより、被計量物をオートチェッカに通過させるだけで、諸々の設定を自動で行い、運転中は、最適な計量を継続して行うために各駆動部の自動調整を行います。従来の複雑なパラメータを設定せずに、誰もが簡単に初期設定が可能な機能をオペレータに提供します。

### 卓越した衛生性

本体丸洗いが可能なIP67に準拠、IP69K(オプション)仕様も追加。お客様の重要課題である製造現場の衛生維持に貢献します。



オールステンレス、オープンフレーム設計により清掃性が向上。



### 優れた環境性能



7色LED表示機能、バックライトの自動消灯、部品点数削減により、消費電力を30%削減しました。(当社従来機比)

### フィードバック機能

オートチェッカの実重量値を組合せ計量機データウェイ™にフィードバック、データウェイ側で制御が行われます。その結果、目標重量値により近くなり、歩留まりを向上させます。



# 製品情報

PRODUCTS  
NEWS

バッチ式計量味付け装置

Products  
News 01

## シーズニングシステム

大和製衡のシーズニングシステム(バッチ式計量味付け装置)は、設定された比率に基づいて、半製品(素材)を高精度計量(減算方式)して、その結果で添加剤(味)を高精度計量(減算方式)を行いますので、正確に配合・攪拌(ミキシング)され、味のバラツキがなくなり品質が安定します。

次世代形シーズニングシステムは、計量・味の添加・攪拌(ミキシング)を一体化したパッケージ商品で、オペレーターの勘頼みや個人差によるバラツキが無くなるため品質向上、添加剤の歩留まり向上、生産管理の効率向上が期待されます。さらに簡単操作でオペレータの熟練度は問われません。これら、一体型のパッケージ商品が「簡単導入」できるためスナック菓子、米菓、またはペットフードなどのシーズニングのいろいろな分野でニーズが広がります。



### 高精度計量

従来の連続式より10倍の精度向上  
(1/100-1/1000)



**製品品質の大幅向上**

### 自動比率制御

半製品と添加剤を設定した比率で  
それぞれ高精度に計量する。



**原料コストの削減**

### ワンタッチ分解

全てのユニットが工具なしで分解可能な  
ためオペレータの作業効率が3倍に。



**メンテナンス性の向上**

### 簡単操作

タッチパネルによる味付けレシピなど  
が誰でも簡単設定



**不良品の大幅削減**

## ランクNAVI™

2013年1月20日に音声ランク選別機「ランクNAVI™」を発売いたしました。発売から5ヶ月経ち累計約250台の販売実績となりました。特に採用が多いのは、イチゴ、サクランボ等比較的小さな青果物です。生産農家はサイズ分けを行ってからJAへ納めますが、選別作業が非常に手間て人手と時間を要します。ランクNAVI™は従来のはかりと異なり「減算式」で計量し、取った瞬間に音声でサイズを教えてくださいますので選別作業が大幅に短縮できます。また、画期的なはかりとして3月に「めざましテレビ(ココ調コーナー)」でも紹介されました。現在、全国ホームセンター、インターネット、JA、販売店等幅広い販路で展開中です。



### 主な採用事例

- サクランボ ● イチゴ ● ビワ ● 玉ねぎ ● ゴーヤ ● シメジ ● すもも

定量詰め容量の大小に関係なく一定の生産能力を実現できるラインをご提案

## 自動排出機構付卓上データウェイ™ TSDW-205Wとオートチェッカとの連動による大容量パック対応

### 特長

- デジタル台はかりとの連動と比べ、大投計量作業を1名削減することができます。
- 大投計量パックをオートチェッカと連動することで、発生する計量時間ロスを最小限にすることができます。



ジャガイモ1kg  
パック詰め作業の  
従来の問題点

計量コンベヤほぼすべての商品が排出されてしまい、排出後の組合せがすぐに行えず、TSDW本来のパフォーマンスを発揮することができませんでした。

### 改善提案

8割の大投入を用いることで、TSDWから排出される残り2割は、2~3ユニットとなり排出後も複数の計量ユニットに計量物が残ることから次の組合せがすぐに行えず、TSDW本来のパフォーマンスを発揮することができます。

大幅に作業効率を  
改善できます！



目標重量の約8割を  
オートチェッカで計量



不足分約2割を  
TSDWから排出



次の組合せ作業に  
待ち時間はいりません

### 省力化メリット

#### 【従来作業】

6名計量・2名包装  
合計8名で12個/分  
平均重量 1050g

#### 【大容量仕様】

1名が8割詰めてオートチェッカに流す  
2名がTSDWに載せる  
2名が包装  
合計5名で20個/分  
平均重量 1008g

3名省力化、  
生産効率70%UP  
歩留り4%改善、  
年間約500万円の利益UP



## PROPAK ASIA 2013

2013年6月12日～15日の4日間、毎年開催されるタイ最大の食品加工・包装機器展 PROPAK ASIA 2013がバンコクのBITEC (バイテック)で開催されました。40カ国から参加企業は1,500社を超え、来場客数は延べ

4万人を超え、ともに年々増加傾向を見せています。本展示会では、当社のタイ代理店であるTOMCOブースにてデータウェイアルファプラス™ADW-214ACC(14連)、Better PackブースにてオートチェッカEシリーズCSE22L-FOP(フリッパ振分装置付き)、テーブルトップタイプのTDW-205を、また日本の包装機メーカー川島製作所ブースでオメガ ADW-O-114F、ADW-514AHCC (上海製アルファ高速タイプ)を展示いたしました。今年は各社とも展示会場最前列への出展を行ったため、大和製のアピールに大きく貢献できました。特にTOMCO社ブースで展示されたコンパクトタイプのアルファモデルADW-214ACCは、その小型仕様から種子業界関係者をメインターゲットとしており、今回はタイ国内では非常に有名な大手種子

メーカーの製品を使用したデモ運転を行い、来場者の関心を引くことに大成功いたしました。タイは特に近年急成長が期待される新興国として注目される“CLMV諸国(カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム)カンボジア”とのビジネスにおけるハブ国家として非常に重要な位置づけにあります。その意味では、他のアジア諸国はもろろん欧米大手包装・検査機器関連メーカーの出展も年々増加する傾向であり、またこれら主要企業のブースを訪問した際の話から、今後タイへ独自進出する積極的な企業も多く、各社のタイ戦略の注目度の関心の高さを痛感しました。このような流れを肌で感じることで今後の当社アジア戦略を考えるうえで非常に良い機会となりました。



## TOTAL 2013

2013年6月4日～6日の3日間、イギリス・バーミンガムのNational Exhibition Centre (NEC)において、TOTAL2013が開催され、当社の現地法人であるYAMATO SCALE DATAWEIGH [U.K.] LTD.(YSD)の協力により、自社ブースを構成し、データウェイΩ™シリーズ、オートチェッカIシリーズをはじめ

とする製品の展示を行いました。この展示会は3年に1度開催されるイギリス最大規模の食品製造業界・物流・包装計量設備の展示会であり、毎回30カ国以上の国々から出展され、今回も世界各国から411社の出展を得て開催されました。本展示会では、イギリスで初めての新製品展示となるオートチェッカIシリーズ(CSI22L-FMOP)も披露され、“安心・安全”でロスのない定量計量ラインを、業界最高レベルの高能力・高精度化を用いてお客様に

提供する\*をコンセプトに来場者へ操作実演による紹介を行い、高い評価を頂きました。

オートチェッカIシリーズは従来機に比べ計量速度・精度とも最高50%アップしたほか、簡単操作で最速制御を実現。さらに防水防塵等級IP67により本体の丸洗いが可能となり(IP69Kオプション)高衛生性とメンテナンス性に優れた構造です。また、壁面に2台の大型モニターを設置し、データウェイΩ™およびオートチェッカIシリーズのプロモーションビデオを放映し、同時に来場者にこのビデオを用いて紹介することで、より多くの来場者に多様化したあらゆるニーズに対応する大和製品をご理解頂くことができました。

今回の展示会では、主催者開催の表彰が行われ、YSDは顧客満足度部門に選出されました。YSDの顧客に提供するサービスの質の高さを実証でき、世界にYamatoをアピールすることができたと強く感じております。

OVERSEAS EXHIBITION  
海外



今年も6月11日から14日までの4日間、FOOMA JAPAN 2013(国際食品工業展)、東京有明の東京国際展示場(東京ビックサイト)で開催されました。

# 国内

JAPAN EXHIBITION

## ”味付けから箱詰めまで” あらゆる御要望にお応えする商品と システムをご提案。

### FOOMA JAPAN 2013

昨年「食の安全・安心」を確保することは言うまでもなく、省エネルギーや地球温暖化のもとになるCO<sub>2</sub>削減、廃棄物処理に至るまで食品機械に求められる要求は多様化しています。36回目となる今年も昨年同様、東ホール全館を使用して「集う、出会う。食の未来が広がる。」をテーマに725社が出展し海外からの来場者数2415名を含めて総数94,087名の総来場者数(主催者発表)がありました。

当社は東5ホールに26小間のブースを構え、「進化するYamatoの定量イノベーション」をテーマに新製品のオートチェッカ1シリーズをはじめ、「Yamato」が提案するトータルラインシステムとしてシーズニングシステム-搬送システム-自動計量包装-X線検査装置-オートチェッカ1シリーズ-ケースパッカー-欠品用Eシリーズオートチェッカまでの実演展示を行いました。新製品のオートチェッカ1シリーズは従来機に比べ計量速度・精度とも最高50%アップ、保護等級IP67、IP69(オプション)準拠の高衛生性・簡単メンテナンス設計など業界最高水準のパフォーマンスを誇ります。また今回初展示のシーズニングシステムでは半製品をベルトスケール上で一定量計量した後にタンブラへ投入、アプリケーションにより設定比率に応じた掛け率で味剤を添加する機能を一括システム制御し、シーズニングシステムに接続した水平駆動式搬送システム

rofro HM3と共に従来のスナックメーカー、以外の米菓メーカーやナッツメーカー等にも大いに興味を示して頂きました。一連ライン展示ではIP67の防水性能を持つデータウェイΩ™シリーズADW-O-0114Sと(株)川島製作所様の縦ビロー包装機と連動し120回/分で噛み込み包装口無しで高速計量・包装を行いました。包装後、X線異物検査装置と新製品のオートチェッカ1シリーズCSI22LWで検査を行い、多彩な袋形態に対応可能なケースパッカーFCP-550VAでの安定した箱詰めを実演しました。自動排出機構付卓上データウェイTSDW-205では大投用オートチェッカを接続して大容量の組合せ計量を可能にしたシステムと、2品種ミックス計量を可能にしたシステムを実演展示し、多くのお客様に足を止めてご覧頂きました。あわせて減算式音声ランク選別機のランクNAVI™とモバイル端末を使った簡易チェッカシステムを実演しました。その他、コストパフォーマンスに優れた汎用型データウェイα™シリーズADW-314ACCと簡単調整・簡単操作のEチェッカも併せて展示しました。

この様な定量計量をキーワードとしたトータルラインシステムの実演展示により多くの御相談とお引き合いを頂いております。大和製衡は「味付けから箱詰めまで」あらゆる御要望にお応えする商品とシステムを提案いたします。



## 計量計測市場 世界ナンバーワンを実現するために



取締役  
事業本部副本部長 兼 国際本部副本部長

原口 光信

このたび取締役役に就任し、事業本部副本部長兼国際本部副本部長を拝命することになりました。当社は9年後には創業100周年を迎えます。100周年に向けて「計量計測市場世界ナンバーワン」を目標に掲げ、2013年度のスローガンを「革新的商品で勝てるセオリーを創り、世界市場を開拓する！」として取り組んでおります。

革新的商品とはもちろんビジネス企画商品であり、勝てるセオリーを創るとはマーケット調査と分析を行い、効率よく勝てる市場を作り、勝ち癖をつけることであります。また、本年4月に設立した国際本部は、まさに世界市場開拓のためであり、現状、自動機器事業を中心に展開している国際化を、海外子会社を含め全事業で展開するためであります。また、我々がナンバーワンになるためには、確実に品質を向上させなくてはなりません。世界ナンバーワンを目指すには高い品質が必要条件となるでしょう。「中長期における大和ものづくり検討プロジェクト」を発定させ、生産性の向上と品質の向上に取り組んでおります。「建設は死闘、破壊は一瞬」という有名な言葉があります。先輩たちが必死に創り上げてくれた大和の信頼も、我々が向上心を失えば一瞬に破壊するという事を肝に命じて、信頼の向上に取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

## 革新的商品をもとに市場開拓型企業へ転換

このたび取締役役に就任、ならびに事業本部兼、自動一般機器事業部副事業部長を拝命いたしました。昨年末からの日本経済は、アベノミクスがもたらした株高・円安の効果が個人消費や輸出企業の景況感に波及し景気は好転しつつありますが、雇用や個人所得押し上げの実感がいまだ見えず、来年の消費税率アップ後のGDP成長率への影響も懸念されています。

このような経済環境の下で、当社は全商品を対象にビジネス企画、すなわち革新技術による商品競争力アップ、販売においては市場開拓型企業への転換に取り組んでおります。当社の成長戦略において高い競争力を持った商品は必要不可欠であり、そのために常に革新技術の創造に取り組み、市場情報を加味しながら他社と圧倒的に差別化でき、100%シェアを確保できる革新的商品を開発し市場投入して参ります。販売戦略においては受け身型営業ではなく、全員が能動的に行動する市場開拓型企業へ転換し、国内のみならず海外マーケットをも開拓・拡大することによって企業の最終目標である売上・利益を拡大すること、そして創業100周年に向けて目指すべき姿である「計量計測市場世界ナンバーワン」の企業となることに全力を挙げて取り組んで参ります。どうぞよろしく願い申し上げます。



取締役  
事業本部 兼 自動一般機器事業部 副事業部長

長尾 武好

### 役員職掌

以下の通り役員の職務分掌が決定しましたので、お知らせいたします。

代表取締役社長	川西 勝三	
代表取締役副社長	川西 能久	事業本部長 兼 MS 経営責任者
取締役	原口 光信	事業本部副本部長 兼 国際本部副本部長
取締役	長尾 武好	事業本部 兼 自動一般機器事業部副事業部長
取締役	山本 勝	事業本部 兼 企画管理本部長 兼 経営企画部長
取締役	岡村 剛敏	事業本部 兼 自動一般機器事業部長
常勤監査役	大松 基秀	
執行役員	中村 貞雄	事業本部 兼 国際本部副本部長
執行役員	奥ノ園 明成	事業本部 兼 産機事業部長

信頼・技術・創造

# 大和製衡株式会社

本社 関東 〒673-8588 兵庫県明石市家原町15番22号  
 東日本支店 〒106-0013 東京都港区浜松町1丁目22番5号  
 中国支店 〒460-0008 名古屋市中央区栄5丁目27番14号  
 千葉営業所 〒264-0025 千葉県市原区都賀4丁目8番18号  
 九州営業所 〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目3番2号

TEL.078-818-5555  
 TEL.03-4778-9121  
 武蔵町センタービル6階 TEL.056-538-5730  
 朝日生命名古屋栄ビル6階 TEL.052-214-3920  
 ショー・エム・都賀ビル1階 TEL.092-471-1921  
 博多工舎ビル1階

URL: <http://www.yamato-scale.co.jp/>